

一般社団法人 兵庫県公認心理師会

2024 年度 年次報告書

2025 年度 第 4 回定時社員総会

日時 : 2025 年 6 月 28 日 (土) 10:20-11:50

場所 : いいオフィス神戸 by KT-joy

次第 :

開会の辞 (第 1 期後期会長より)

議題

1. 議長の選任、社員総会定足数・議事録署名人の報告

2. 報告事項

第 2 期代議員就任について

3. 審議事項

第 1 号議案 2024 年度 事業報告及び決算 (案) の承認

第 2 号議案 2025 年度 事業計画及び予算 (案) の承認

第 3 号議案 第 2 期前期理事候補者・監事候補者の承認

4. その他

休憩／第 2 期前期理事による会長選挙・副会長選挙

5. 第 2 期前期会長・副会長の挨拶

閉会の辞 (第 1 期後期副会長より)

開会の辞（第 1 期後期会長より）

樋口会長より

- ・第 1 期で、定期的な全体研修、医療・産業、教育・SC、福祉・司法の 3 領域別の研修がコンスタントに開催できるようになり、ホームページ管理や研修・求人情報の発信、会員の入退会等の事務運営が軌道に乗ったといえる。
- ・第 1 期代議員や役員は法人設立時の有志であり、まさに土台づくりの任期 4 年であった。第 2 期代議員や役員は、初めて全員選挙によって選出される者となる。発展の 4 年になろう。そのために、新旧代議員が密に協力・連携してもらいたい。

出席者名簿

《第1期代議員》

樋口 純一郎	神戸市こども家庭センター	第1期後期 理事	会長
高田 豊司	関西福祉大学		副会長／福祉・司法領域委員長
富永 良喜	兵庫県教育委員会丹波教育事務所	〃	副会長
安東 大起	一般社団法人パーマネント・クリ エイティブ・マインド	〃	事務局長
大野 詩織	一般社団法人パーマネント・クリ エイティブ・マインド	〃	広報委員長
山根 隆宏	神戸大学	〃	研修委員長
高寄 誠	明石こころのホスピタル	〃	医療・産業領域委員長
谷家 優子	兵庫教育大学保健管理センター	〃	SC・教育領域委員長
大島 剛	神戸親和大学	第1期後期 監事	
多田 智栄子	関西国際大学子育て支援センター	代議員	
中植 満美子	甲子園大学	〃	
永浦 拡	北海道教育大学	〃	
中村 有生	兵庫県立清水が丘学園	〃	
服部 泰子	春日日本語学院	〃	
山本 沙弥香	ひびきこころのクリニック、 ひょうご被害者支援センター	〃	

※代議員の任期＝2021～2024 年度

※第1期後期 理事・監事の任期＝2023～2024 年度

以上、15 名

《第2期代議員》

樋口 純一郎	神戸市こども家庭センター	継続	新規
富永 良喜	兵庫県教育委員会丹波教育事務所	○	
谷家 優子	兵庫教育大学保健管理センター、東布施野田クリニック	○	
安東 大起	一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド	○	
大野 詩織	一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド、兵庫県スクールカウンセラー	○	
高田 豊司	関西福祉大学	○	
香川 葉月	一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド		○
山根 隆宏	神戸大学	○	
中植 満美子	甲子園大学	○	
中村 有生	兵庫県立清水が丘学園	○	
大島 剛	神戸親和大学	○	
高寄 誠	明石こころのホスピタル	○	
山本 沙弥香	ひびきこころのクリニック、 ひょうご被害者支援センター	○	
岡澤 直樹	丹波篠山市立篠山養護学校		○
中原 由望子	立命館大学		○

※投票順に掲載

※任期＝2025～2028年度
以上、15名

《欠席者よりメッセージ》

- ・多田代議員：体調がすぐれず参加することが叶いません。お役に立てずに申し訳なく思っております。総会が滞りなく進行し、次期役員の方々へと引き継ぎがなされて、ますますのご発展をお祈りしております。ありがとうございました。
- ・永浦代議員：遠方のため出席できませんが、よろしく願いいたします。まだ兵庫で非常勤の仕事はしていますので会員としてお手伝いできることは、させてください。

1. 議長の選任、社員総会定足数、議事録署名人の報告

議長は、定款 15 条「社員総会の議長は、予め理事会において定めたものがこれに当たる」に基づき、第 27 回理事会（2025 年 5 月 28 日）において、安東 大起 氏（理事／事務局長）が選任されました。

社員総会は、当会定款 17 条「社員総会の決議は、法令又は定款に別段の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う」、同定款 18 条「社員総会に出席できない社員は、他の社員を代理人として議決権の行使を委任することができる。この場合においては、当該社員又は代理人は、社員総会ごとに代理権を証明する書類をこの法人に提出しなければならない」、同定款 19 条「社員総会の招集を決定する理事会において、社員総会に出席できない社員が書面又は電磁的方法によって議決権を行使することができる旨の定めをすることができる。この場合においては、書面又は電磁的方法によって行使した議決権の数は、出席した社員の議決権の数に算入する」の規定に基づき、出席者数に、電磁的方法による議決権の行使もしくは委任した社員数を加えた数が過半数（8 名以上）となれば、社員総会の定足数を満たすこととなります。

第 1 期代議員 計 15 名のうち、

出席 12 名 + 電磁的方法による議決権の行使 1 名（永浦代議員）

+ 他代議員への委任 2 名（大島代議員・多田代議員） = 計 15 名

で本総会は成立しました。

議事録署名人は、定款 21 条「社員総会の議事については、法令で定めるところにより、書面又は電磁的記録により議事録を作成し、議長又は会長がこれに記名押印又は署名（電磁的記録の場合は電子署名）する」の規定に基づき、樋口純一郎会長が署名し、書面を事務局に保管するものとします。

2. 報告事項 第2期代議員の就任について

2024 年

- 10 月 31 日（木） 選挙管理委員会の選任（[選挙規程](#)第2条の3による）
 11 月 5 日（火） [実施日程とその実施手続きに関する計画書の公示](#)（[選挙規程](#)第7条（1）による）、[立候補届](#)の受付開始
 12 月 15 日（日） [立候補届](#)の提出締切

2025 年

- 2 月 17 日（月） [投票に関する案内](#)（候補者名簿、投票方法等）、投票開始（電子投票による）
 3 月 31 日（月） 投票締め切り
 4 月 10 日（木） 開票・集計作業（場所未定）、[選挙結果速報](#)
 4 月 21 日（月） [第2期理事候補者・監事候補者選挙について（公示）](#)、投票開始
 4 月 30 日（水） 第2期代議員承諾書 提出締切
 5 月 18 日（日） 投票終了
 5 月 23 日（金） 開票
 6 月 9 日（月） [選挙結果速報](#)
 6 月 28 日（土） 2025 年度定時社員総会（第2期代議員の就任、理事・監事の承認）

候補者数 17 名（定数 15 名）
 有権者数 149 名
 投票者数 54 名（投票率 36.2%） ※1 人 4 票まで
 開票立会 5 名（選挙管理委員 4 名、理事 1 名）
 投票数 191 票（有効数 191 票 無効数 0 票 有効投票数 100.0%）

順位	候補者	得票数
1	樋口 純一郎	31
2	富永 良喜	18
3	谷家 優子	17
4	安東 大起	16
5	大野 詩織	12
5	高田 豊司	12
7	香川 葉月	11
7	山根 隆宏	11
9	中植 満美子	10

順位	候補者	得票数
9	中村 有生	10
11	大島 剛	9
11	高寄 誠	9
13	山本 沙弥香	7
14	岡澤 直樹	6
15(1)	中原 由望子	4
15(2)	澤山 郁夫	4
15(3)	西本 義之	4

次点
次々点

選挙管理委員会

委員長 安東 大起

委員 大野 詩織、香川 葉月、松本 愛奈

3. 審議事項

(第1・2号議案) 2024年度 事業報告及び決算(案)、2025年度 事業計画及び予算(案)の承認

《会長・副会長》

会 長=樋口 純一郎(神戸市こども家庭センター)

副会長=高田 豊司(関西福祉大学)、富永 良喜(兵庫県教育委員会丹波教育事務所)

2024年度 事業計画	2024年度 事業報告(案)	2025年度 事業計画(案)
①理事会の招集(隔月1回程度/オンライン) 事業計画・報告(案)の作成 予算・決算(案)の作成 入会承認 適宜、審議事項の決議等 ②一般社団法人日本公認心理師協会全国都道府県公認心理師協会等代表者懇談会 出席 (2024.7.6/オンライン)	①2024.5.28、8.1、10.31、2025.1.6、3.21、いずれもオンラインで理事会を招集し、適宜検討事項を協議した(計5回)。 1) 2024年度の入会者26名、退会者5名を承認した。2025.3.31現在で会員215名、昨年度から21名増。 2) 各委員会で、領域別研修の開催等の委員会活動を展開した。 3) 2024.7.1、2024年度定時社員総会(2024.6.29)で承認された「改正定款」「改正選挙規程」を施行。 4) 2024.10.31、当会選挙規程第2条に基づき、第2期代議員選挙(2025.2~3)における選挙管理委員を任命(安東大起会員、大野詩織会員、香川葉月会員、松本愛奈会員の計4名)。 ② 1) 2024.7.6にオンライン開催され、樋口会長・安東事務局長が出席。会長挨拶、日本公認心理師協会の活動報告、議員連盟開催報告等。日本公認心理師協会より、たとえば能登半島地震支援において、当該地域に公認心理師職能会がないことを国や自治体から指摘されたこともあり、地方の声を挙げてもらいたい。また、代議員制の導入を検討中とのこと。当会より、既に設立されている地方団体に「支部機能」を委託することを検討できないか提案。他。 2) 2025.2.22にオンラインで開催、高田副会長が出席予定であったが、私事都合でキャンセル。資料のみ受領(警察庁より犯罪被害者等支援に関する協力依頼、2027年からの代議員制導入、連携団体に別団体としての独立性を保ちながら「支部的な機能」の役割を検	①理事会の招集(隔月1回程度/オンライン) 事業計画・報告(案)の作成 予算・決算(案)の作成 入会承認 適宜、審議事項の決議等 ②一般社団法人日本公認心理師協会全国都道府県公認心理師協会等代表者懇談会 出席 (日程未定/オンライン)

③近畿ブロック公認心理師職能団体（滋賀・大阪・和歌山）連絡会 出席（2024. 7. 18／オンライン） ④日本臨床心理士会・日本公認心理師協会合同災害支援担当者会議 出席（時期未定／場所未定） ⑤その他、関係機関からの要請に対応（随時） ⑥能登半島地震における支援活動（随時） 2024. 4 以降もスクールカウンセラー緊急派遣は継続しており、理事会推薦者を派遣予定。	討中、他）。 ③2024. 7. 18 にオンライン開催され、樋口会長・大野理事が出席。公認心理師試験研修センター主催実務者交流研修会（2024. 11. 3）や資格試験（2025. 3. 2）後等に、研修参加者や各養成大学へ近畿合同で入会案内パンフを作成・配布することを検討。他。 ④開催なし。 ⑤ 1) 一般社団法人日本心理臨床学会の資格関連委員会企画シンポジウム『心理職の現状から今後の協働をめざして』（オンライン）に、公益社団法人日本公認心理師協会会長や一般社団法人公認心理師の会会長とともに、地方心理職能団体代表で樋口会長が登壇。地方公認心理師職能団体の現状と課題を報告。 2) 2024. 11. 16、被害者・被災者研修『災害や暴力被害によるトラウマの理解と対応』（王子動物園ホール）を兵庫県臨床心理士会と共催。両会会員計 71 名の参加。災害と犯罪被害によるトラウマの共通点・相違点を整理し、①災害派遣 SC、②子ども虐待現場、③医療機関における性被害面接、それぞれの実践報告とグループディスカッション。バランス取れた実践的内容で、好評であった。 ⑥2024. 7. 19 まで、理事会推薦で、谷家理事・鈴木絢会員・西本義之会員・中原由望子会員の計 4 名を派遣した。兵庫県臨床心理士会との合同チームで、支援活動を行った。	③近畿ブロック公認心理師職能団体（滋賀・大阪・和歌山）連絡会 出席（2025. 7. 10／オンライン） ④その他、関係機関からの要請に対応（随時）
---	--	--

《事務局》

事務局長=安東 大起（一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド）

委員=松本 愛奈（兵庫県立清水が丘学園）

2024 年度 事業計画	2024 年度 事業報告（案）	2025 年度 事業計画（案）
①事務運営 （事務局管理、ホームページ管理、文書等収発、 税務等）	①事務局管理については、新規入会者手続き、会計管理等を行った。ホームページ管理については、研修情報、求人情報等を掲載し、ホームページを更新した。文書等収発は、郵便物やメール等対応した。税務については、研修会謝礼に関する報酬等の支払調書作成を税理士に依頼し、発送した。	①事務運営 （事務局管理、ホームページ管理、文書等収発、 税務等）
②定時社員総会の開催（2025.6 頃）	②2024.6.29 オンラインで開催。	②定時社員総会の開催（本日 2025.6.28）

《広報委員会》

委員長=大野 詩織（一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド）

委 員=中植 満美子（神戸海星女学院大学）、中谷恭子（兵庫県精神保健福祉センター）、新林 智子（兵庫県スクールカウンセラー）、本田 浩子（愛神愛隣舎）、山本 沙弥香（ひびきこころのクリニック）

2024 年度 事業計画	2024 年度 事業報告（案）	2025 年度 事業計画（案）
①ニュースレター第 7 号の発行（2024.9 頃／ホームページに掲載、連携団体に送付）	①予定どおり発行した。連携団体（公益社団法人日本公認心理師協会、一般社団法人公認心理師の会、近畿ブロック公認心理師職能団体）と兵庫県臨床心理士会に案内した。	①ニュースレター第 8 号の発行（2025.9 頃／ホームページに掲載、連携団体に送付）
②ニュースレター第 8 号の発行（2025.3 頃／ホームページに掲載、連携団体に送付）	②同上	②ニュースレター第 9 号の発行（2026.3 頃／ホームページに掲載、連携団体に送付）

《研修委員会》

委員長=山根 隆宏（神戸大学）

委員=香川 葉月（一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド）、定政 由里子（神戸学院大学）、中村 有生（兵庫県立清水が丘学園）、服部 泰子（春日日本語学院）、松本 愛奈（兵庫県立清水が丘学園）

2024 年度 事業計画	2024 年度 事業報告（案）	2025 年度 事業計画（案）
①研修会 1) 全体研修 年 2 回 2024. 8. 3（会場=神戸市内）、2025. 2 頃（会場未定） 県内の心理職関連団体に後援依頼を予定。 2) 基礎研修 年 2 回程度（時期・会場未定） 1) 2) も参加資格を公認心理師だけでなく、他の心理関連資格にも広げることを検討。	① 1) 夏季全体研修会（2024. 8. 3／あすてっふ KOBE） ・テーマ：『「ふつうの相談」からみる公認心理師の行方』 ・講師：東畑開人氏（白金高輪カウンセリングルーム） ・話題提供者： 高寄誠氏（明石こころのホスピタル）『医療領域での「ふつうの相談」』 福島美由紀氏（兵庫県 SC）『ふつうの相談～学校編 私のお家芸に、「ふつうの相談証明書」をつけていただけた書籍』 ・参加者：73 名（会員 31 名，非会員 35 名，大学院生 1 名） ・後援：兵庫県臨床心理士会 2) 冬季全体研修会（12. 22／神戸学院大学三宮サテライト） ・テーマ：『トラウマインフォームドケアの基本	①委員会の開催（適宜） ②研修会 1) 全体研修 年 2 回 2025. 6 頃、2026. 2 頃（会場未定） 県内の心理職関連団体に後援依頼を予定。 2) 就活イベント（合同説明会）の開催。

②兵公心 Café（交流サロン）の開催（2024. 8. 2、10 頃、2025. 1 頃、4 頃／オンライン）	と実践』 ・講師：亀岡智美氏（兵庫県こころのケアセンター） ・話題提供者：西森啓祐氏（グインホーム） ・参加費者：39 名（会員 22 名，大学院生 10 名，非会員 7 名） ② 1) テーマ『日常業務にどう活かす？ 心理学の視点』市橋真奈美氏（関西福祉大学）・和田幸恵氏（赤穂市立小青少年育成センター）が話題提供。20 名の参加。学校教員や児童指導員・SSW 等周辺職種として、どのように心理学の知見・視点を活かせるかディスカッション。 2) テーマ『公認心理師をめざす者のための企画～現役公認心理師にぶっちゃけ聞いてみよう！～』現役の法務技官・療育機関・SC から話題提供。44 名の参加、半数以上が学生参加で活発なディスカッション。 3) テーマ『「ひとり職場」の働き方』19 名の参加。今回は周辺領域の有資格者より、心理職の参加が多かった。 4) テーマ『会長・副会長になんでも聞いてみよう！』樋口会長・高田副会長・富永副会長と座談会。28 名の参加。「大学では聞けない貴重な機会」「続編・“オフ会” 希望」と盛況。	③兵公心 Café（交流サロン）の開催（2025. 7. 4 延期、9. 26、12 月頃、2026. 3 頃／オンライン）
---	--	---

《医療・産業領域委員会》

委員長=高寄 誠（明石こころのホスピタル）

委員=酒見 敦子（神戸大学医学部附属病院）、山本 沙弥香（ひびきこころのクリニック）

2024 年度 事業計画	2024 年度 事業報告（案）	2025 年度 事業計画（案）
①領域別研修会の開催（時期・会場未定） サイコオンコロジーと産業分野の研修（がんと仕事の両立支援等）を企画中。 ②継続した教育機会の確保として、会員のニーズ把握を行う。そのために、全体へのアンケートや研修時のアンケートを検討する。 ③精神保健福祉センター等からの依頼があれば、研修受講者等を推薦する。	① 1) 2024. 5. 25『医療領域の事例検討で学ぶ心理学的視点の活かし方』（あすてっぷ KOBE）を開催、岩路かをり氏（神戸市立医療センター西市民病院）を講師に、社会福祉士や看護師等の周辺資格で公認心理師資格取得した者が、心理の知識をどう職場や業務に還元しているか、事例検討会。17名の参加。 2) 2025. 2. 7『医療・産業のさまざまな職場』（神戸市中央区文化センター／ハイブリッド開催）高寄委員長・酒見委員・山本委員・森谷明日香会員（三菱重工株式会社）から話題提供。職場紹介、現場での工夫などの情報共有の場とした。14名の参加。 ②上記①の領域別研修にて、医療・産業領域の会員の声を集めるため、グループディスカッションを企画した。 ③2024. 10. 25、一般社団法人日本精神保健福祉士協会主催『厚生労働省令和 6 年度心のケア相談研修』（オンライン）の受講者推薦依頼あり、安東事務局長を推薦した。 ④日本公認心理師協会より、JIMTEF 災害医療研修ベーシック/アドバンスコース」の受講者推薦の依頼あり、ベーシックコース（2024. 9. 17-10. 17）に高寄委員長谷家理事・赤錆千春会員（宍粟市立一宮北中学校 SC）を推薦、アドバンスコース（11. 3-11. 4）に谷家理事・赤錆会員を推薦。ニューズレター（2025. 3 号）で報告、参加費一部補助。	①委員会の開催（適宜） ②領域別研修会の開催（時期・会場未定） サイコオンコロジーと産業分野の研修（がんと仕事の両立支援等）を企画中。技術や理論についての研修と、会員同士の相互交流の場を持てる研修機会を企画していく予定。 ③継続した教育機会の確保として、会員のニーズ把握を行う。そのために、全体へのアンケートや研修時のアンケートを適宜検討する。 ④精神保健福祉センター等からの依頼があれば、研修受講者等を推薦する。 ⑤JIMTEF 災害医療研修の受講推薦・参加費一部補助を検討する。

《教育・SC 領域委員会》

委員長= 谷家 優子（兵庫教育大学保健管理センター、東布施野田クリニック）

委員=岩井 美香（神戸市特別支援教育相談センター）、岡澤 直樹（兵庫県丹波篠山市立篠山養護学校）、川元 佳子（兵庫県スクールカウンセラー、大阪府スクールカウンセラー、姫路医療専門学校非常勤講師）、多田 智栄子（関西国際大学）、富永 良喜（兵庫県教育委員会丹波教育事務所）、新林 智子（兵庫県スクールカウンセラー）、服部 泰子（春日日本語学院）

2024 年度 事業計画	2024 年度 事業報告（案）	2025 年度 事業計画（案）
①SC・教育領域委員会として、年間 1 回程度の研修会を開催する。 ②兵庫県教育委員会とスクールカウンセラーに関する会議・研修等に参加する。 兵庫県教育委員会、兵庫県臨床心理士会等、他の組織との研修共催などの実施に向け、働きかけをしていく。 ③学校・幼稚園等から依頼に応じて、対応する。	①2024. 11. 2『学校での暴力・暴言への対応』（三宮センタープラザ西館）を開催。定員上限の申込で、39 名の参加。 ② 1) 兵庫県教育委員会・心の健康観察ストレスチェック評価研究会（第 1 回 2024. 6. 24、第 2 回 7. 17、第 3 回 10. 31、第 4 回 12. 16）に富永委員が出席。 2) 兵庫県教育委員会義務教育課と SC 事業についての協議（2025. 3. 24）に、富永委員が出席。 3) 兵庫県教育委員会・心の健康観察導入検討委員会（第 1 回 1. 16）に富永委員が出席。 ③2024. 9. 11 兵庫県立三田祥雲館高校から在校生対象の「職業人講話」の依頼あり、谷家委員長が出向。	①SC・教育領域委員会会議を、年間 3 回程度実施する。 ②SC・教育領域委員会として、年間 1 回程度の研修会を開催する。 ③兵庫県教育委員会と SC に関する会議・研修等に参加する。 兵庫県教育委員会、兵庫県臨床心理士会等、他の組織との研修共催などの実施に向け、働きかけをしていく。 ④兵庫県教育委員会・心の健康観察導入検討委員会への出席及び提言を行う。 ⑤学校・幼稚園等から依頼に応じて、対応する。

《福祉・司法領域委員会》

委員長=高田 豊司（関西福祉大学）

委員=谷家 優子（兵庫教育大学保健管理センター、東布施野田クリニック）、樋口 純一郎（神戸市こども家庭センター）、松本 愛奈（兵庫県立清水が丘学園）、三宅 彩加（里親支援センターなごみ）、森 歩夢（関西福祉大学）、若林 亮（信愛学園）

2024 年度 事業計画	2024 年度 事業報告（案）	2025 年度 事業計画（案）
①福祉・司法領域委員会として、年間 1 回程度の研修会を開催する。 ②その他、兵庫県臨床心理士会福祉領域委員会等、他団体との研修会共催・後援依頼等に対応する。	①2025. 2. 8（兵庫教育大学神戸キャンパス）に『ゲーム依存の理解と支援』を開催。講師は、永浦 祐氏（北海道教育大学大学院）、司会は森委員。30 名の参加申込で、相談の実際に関する具体的な議論となった。 ②1. 12（こうべ市民福祉交流センター）に、兵庫県臨床心理士会福祉領域委員会主催研修『母子保健領域における心理業務～市町村の子育て支援と虐待予防～』を後援。話題提供は明石市こども健康課福祉職・心理職、指定討論に上郡町健康福祉課健康係保健師。49 名の参加で、うち当会会員は 7 名。	①委員会の開催（適宜） ②福祉・司法領域委員会として、年間 1 回程度の研修会を開催する。 ③その他、兵庫県臨床心理士会福祉領域委員会等、他団体との研修会共催・後援依頼等に対応する。

貸借対照表

令和 07 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,473,450	2,238,591	234,859
流動資産合計	2,473,450	2,238,591	234,859
資産合計	2,473,450	2,238,591	234,859
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	104,238	30,701	73,537
流動負債合計	104,238	30,701	73,537
負債合計	104,238	30,701	73,537
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産			
一般正味財産	2,369,212	2,207,890	161,322
正味財産合計	2,369,212	2,207,890	161,322
負債及び正味財産合計	2,473,450	2,238,591	234,859

正味財産増減計算書

令和 06 年 4 月 1 日 から 令和 07 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	1,497,238	826,700	670,538
会員年会費	995,226	664,700	330,526
研修会参加費	502,012	162,000	340,012
受取寄付金	0	0	0
雑収益	1,320	20	1,300
受取利息	1,320	20	1,300
経常収益計	1,498,558	826,720	671,838
(2) 経常費用			
旅費交通費	120,350	16,770	103,580
通信運搬費	52,278	49,509	2,769
消耗品費	0	330	-330
支払手数料	66,205	68,316	-2,111
賃借料	216,210	53,350	162,860
諸謝金	844,898	155,000	689,898
租税公課	0	10,832	-10,832
雑費	37,295	395,660	-358,365
経常費用計	1,337,236	749,767	587,469
評価損益調整前経常増減額	161,322	76,953	84,369
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	161,322	76,953	84,369
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
一般正味財産増減額	161,322	76,953	84,369
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	161,322	76,953	84,369
II 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	161,322	76,953	84,369

正味財産増減計算書内訳表

令和 06 年 4 月 1 日 から 令和 07 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

科目	収益事業会計	非営利事業会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	0	1,497,238	1,497,238
会員年会費	0	995,226	995,226
研修会参加費	0	502,012	502,012
受取寄付金	0	0	0
経常収益計	0	1,498,558	1,498,558
(2) 経常費用			
管理費	0	1,337,236	1,337,236
旅費交通費	0	120,350	120,350
通信運搬費	0	52,278	52,278
消耗品費	0	0	0
支払手数料	0	66,205	66,205
賃借料	0	216,210	216,210
諸謝金	0	844,898	844,898
租税公課	0	0	0
雑費	0	37,295	37,295
経常費用計	0	1,337,236	1,337,236
評価損益調整前経常増減額	0	161,322	161,322
当期経常増減額	0	161,322	161,322
一般正味財産増減額	0	161,322	161,322
一般正味財産期末残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	161,322	161,322
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	80,449	161,322	241,771

財産目録

令和 07 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金 但陽信用金庫／姫路北支店	2,473,450		
流動資産合計		2,473,450	
資産合計			2,473,450
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	104,238		
流動負債合計		104,238	
負債合計			104,238
正味財産			2,369,212

2024年度 収支計算書（案）

（2024年4月1日～2025年3月31日まで）

収入総額	¥3,706,448
支出総額	¥1,337,236
差引残高	¥2,369,212

収入					支出			
	項目	2024年度収入	2024年度予算	2023年度収入	項目	2024年度支出	2024年度予算	2023年度支出
事務局	会員会費	995,226	700,000	664,700	事務所賃借料	63,360	63,745	53,350
	雑収益	1,320	0	20	税理士契約料	0	264,000	340660
	研修会参加費	—	研修委員会へ	60500	予備費	42,500	593,551	66,344
	前年度繰越金	2,207,890	2,207,890	2,130,939	備品費、郵送費	5,303	10,000	3,243
					システム管理費用	47,468	46,596	46,596
					支払手数料	23,705	50,000	29,574
					研修会運営費	—	研修委員会へ	55,000
					交通費	0	100,000	0
					周年事業積立金	0	400,000	0
	小計	3,204,436	2,907,890	2,856,159	小計	182,336	1,527,892	594,767
広報委員会		—	—	0	郵送費	—	—	0
		—	—	0	チラシ	—	—	0
	小計	—	—	0	小計	—	—	0
研修委員会	全体研修参加費	225,666	30,000	0	全体研修講師謝金	215,685	400,000	40,000
	兵公心café参加費	1,494	20,000	15,500	基礎研修講師謝金	270,000	200,000	事務局より
	基礎研修参加費	138,537	30,000	27,000	兵公心café講師謝金	41136	100,000	35,000
	社会的養護研修参加費	4,050	0	10,000	会場費	103,900	70,000	—
					雑費	1,368	30,000	—
					交通費	36,490	0	0
	小計	369,747	80,000	52,500	小計	668,579	800,000	75,000
医療・産業領域委員会	医療・産業領域研修会参加費	15,787	30,000	0	講師謝金	73,411	180,000	0
					会場費	6,700	40,000	—
					雑費	11,946	30,000	—
					交通費	4,280	—	—
	小計	15,787	30,000	0	小計	96,337	250,000	0
教育・SC領域委員会	教育・SC領域研修会参加費	85,680	30,000	25,000	講師謝金	200,118	180,000	50000
					会場費	35,500	40,000	—
					雑費	9,880	30,000	—
					交通費	19,420	—	—
	小計	85,680	30,000	25,000	小計	264,918	250,000	0
福祉・司法領域委員会	福祉・司法領域研修会参加費	30,798	30,000	24,000	講師謝金	44,548	180,000	30,000
					会場費	6,750	40,000	—
					雑費	13,608	30,000	—
					交通費	60,160	—	—
	小計	30,798	30,000	24,000	小計	125,066	250,000	30,000
総計	小計	3,706,448	3,077,890	2,957,659	小計	1,337,236	3,077,892	699,767

監査報告書

一般社団法人 兵庫県公認心理師会

会長 樋口 純一郎 様

一般社団法人兵庫県公認心理師会定款 25 条「監事は、理事の職務の執行を監査し、法令の定めるところにより、監査報告を作成する」の規定に基づき、2024 年度の事業報告及び決算について、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書及び帳簿等の関係書類を監査した結果、適正かつ正確であることを認めます。

2025 年 6 月 8 日

一般社団法人 兵庫県公認心理師会

監事

大島 剛 

2025年度 収支予算書（案）

（2025年4月～2026年3月）

収入総額	¥3,709,212
支出総額	¥3,709,212
差引残高	¥0

収入					支出			
	項目	2025年度 予算	2024年度 収入	2024年度 予算	項目	2025年度 予算	2024年度 支出	2024年度 予算
事務局	会員年会費	1,000,000	995,226	700,000	事務所賃借料	58,080	63,360	63,745
	雑収益	0	1,320	0	税理士契約料	528,000	0	264,000
	前年度繰越金	2,369,212	2,207,890	2,207,890	予備費	460,664	42,500	593,551
					備品費、郵送費	5,000	5,303	10,000
					システム管理費用	47,468	47,468	46,596
					支払手数料	30,000	23,705	50,000
					交通費	100,000	0	100,000
					租税公課	0	—	—
					周年事業積立金	400,000	0	400,000
					事務局運営費	360,000	—	—
					司法書士登記	50,000	—	—
	小計	3,369,212	3,204,436	2,907,890	小計	2,039,212	182,336	1,527,892
広報委員会		—	—	0	郵送費	—	—	—
		—	—	0	チラシ	—	—	—
	小計	—	—	0	小計	—	—	—
研修委員会	全体研修参加費	200,000	225,666	30,000	全体研修講師謝金	300,000	215,685	400,000
	兵公心café参加費	20,000	1,494	20,000	基礎研修講師謝金	200,000	270,000	200,000
	基礎研修参加費	30,000	138,537	30,000	兵公心café講師謝金	100,000	41,136	100,000
	被害者支援研修参加費	0	4,050	0	会場費	100,000	103,900	70,000
					雑費	30,000	1,368	30,000
					交通費	40,000	36,490	—
					就活イベント (合同説明会)	150,000	—	—
	小計	250,000	369,747	80,000	小計	920,000	668,579	800,000
医療・産業 領域委員会	医療・産業領域 研修会参加費	30,000	15,787	30,000	講師謝金	150,000	73,411	180,000
					会場費	40,000	6,700	40,000
					雑費	30,000	11,946	30,000
					交通費	30,000	4,280	—
	小計	30,000	15,787	30,000	小計	250,000	96337	250,000
SC・教育 領域委員会	教育・SC領域研 修会参加費	30,000	85,680	30,000	講師謝金	180,000	200,118	180,000
					会場費	40,000	35,500	40,000
					雑費	10,000	9,880	30,000
					交通費	20,000	19,420	—
	小計	30,000	85,680	30,000	小計	250,000	264,918	250,000
福祉・司法 領域委員会	福祉・司法領域 研修会参加費	30,000	30,798	30,000	講師謝金	150,000	44,548	180,000
					会場費	40,000	6,750	40,000
					雑費	30,000	13,608	30,000
					交通費	30,000	60,160	—
	小計	30,000	30,798	30,000	小計	250,000	125,066	250,000
総計	小計	3,709,212	3,706,448	3,077,890	小計	3,709,212	1,337,236	3,077,892

第1号議案（2024年度事業報告及び決算（案）の承認）について

《補足説明・質疑応答》

- ・ 貸借対照表の負債とは？
⇒講師謝金等の未納分。
- ・ 正味財産増減計算書内訳表の収益事業会計における残高は？
⇒2021年度の収益が残ったままになっており、税理士より問題ないと確認済み。以降は非営利事業のため、収益はない。
- ・ 2024年度収支計算書（案）の事務局支出の「税理士契約料」が「0円」なのは？
⇒2024年度分の請求が3月31日までに生じなかったため、2025年度収支予算書に2年分計上している。
- ・ 2024年度収支計算書（案）の教育・SC領域委員会支出の小計が、予算額を超えているのは？
⇒講師謝金額に源泉徴収額を含めなかったため、14,918円だけ赤字になっている。次年度以降は、講師謝金額内に源泉徴収額を含めるよう統一する。
⇒大幅に予算額を上回ることが想定される場合は、理事会にて、年度内に補正予算をくむこと。
⇒予算内の支出を想定するのと同様に、予算からかけ離れた支出額も問題である。会員に還元できるよう事業支出すること。

《議決》

承認 15名（うち、電子的方法による議決権の行使1名、議長委任2名）
承認しない 0名
保留 0名

の全会一致で承認されました。

第2号議案（2025年度事業計画及び予算（案）の承認）について

《補足説明・質疑応答》

- ・ 2025年度収支予算書（案）の研修委員会収入の「社会的養護研修参加費」は、どの研修に当たるのか？
⇒会長・副会長関係事業報告の⑤の2）2024.11.16 兵庫県臨床心理士会との被害者・被災者支援共催研修。名称を「被害者・被災者支援研修」へ変更のこと。

《議決》

承認 15名（うち、電子的方法による議決権の行使1名、議長委任2名）
承認しない 0名
保留 0名

の前回一致で承認されました。

3. 審議事項 (第3号議案) 第2期前期理事・監事の承認

今般の第2期前期理事候補者・監事候補者選挙におきまして、2025年5月23日に開票しましたので、その結果をご連絡させていただきます。

候補者数 15名 (定数 理事8名、監事1名)
 有権者数 15名
 投票者数 13名 (投票率 86.7%) ※1人4票まで
 投票数 理事選 51票 監事選 24票 (有効投票率 100%)
 開票立会 6名 (選挙管理委員4名、理事2名)

順位	理事候補者	得票数
1	樋口 純一郎	7
2	富永 良喜	6
3	谷家 優子	5
3	安東 大起	5
3	大野 詩織	5
6	香川 葉月	4
6	中原 由望子	4
8(1)	中植 満美子	3
8(2)	高寄 誠	3
8(3)	高田 豊司	3

順位	監事候補者	得票数
1	大島 剛	10
2(1)	安東 大起	2
2(2)	高田 豊司	2
2(3)	中原 由望子	2
2(4)	富永 良喜	2
2(5)	中植 満美子	2
2(6)	山本 沙弥香	2

なお、第1期後期理事・監事の任期は、本日2025年6月28日定時社員総会終了までです。

参考：

定款26条「理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。」

同26条の2「監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。」

現在進行中の研修企画や委員会活動等は、次期理事・監事に引き継ぐまで進行をお願いします。

選挙管理委員会

委員長 安東 大起

委員 大野 詩織、香川 葉月、松本 愛奈

第3号議案（第2期前期理事候補者・監事候補者の承認）について

- ・樋口 純一郎氏：承認 12 名＋電子的方法による議決権行使 1 名・議長委任 2 名＝計 15 名で承認
- ・富永 良喜氏：承認 12 名＋電子的方法による議決権行使 1 名・議長委任 2 名＝計 15 名で承認
- ・谷家 優子氏：承認 12 名＋電子的方法による議決権行使 1 名・議長委任 2 名＝計 15 名で承認
- ・安東 大起氏：承認 12 名＋電子的方法による議決権行使 1 名・議長委任 2 名＝計 15 名で承認
- ・大野 詩織氏：承認 12 名＋電子的方法による議決権行使 1 名・議長委任 2 名＝計 15 名で承認
- ・香川 葉月氏：承認 10 名＋電子的方法による議決権行使 1 名・議長委任 2 名＝計 13 名で承認
- ・中原 由望子氏：承認 11 名＋電子的方法による議決権行使 1 名・議長委任 2 名＝計 14 名で承認
- ・中植 満美子氏：承認 12 名＋電子的方法による議決権行使 1 名・議長委任 2 名＝計 15 名で承認
- ・大島剛氏：承認 12 名＋電子的方法による議決権行使 1 名・議長委任 2 名＝計 15 名で承認

以上、全候補者が承認されました。

4. その他

特になし

休憩 第2期前期理事による会長選挙・副会長選挙（第28回理事会）

樋口 純一郎
富永 良喜
谷家 優子
安東 大起
大野 詩織
香川 葉月
中原 由望子
中植 満美子

（※以上、投票順）

理事 8 名のうち、出席 8 名 ＋ 欠席 0 名 ＝ 計 8 名（過半数 5 名以上）で

理事会は成立しました。

選挙規程第 10 条（会長・副会長の選出）

会長の選出は、前条第4項に規定する理事選任の決議に引き続き、理事会において理事の互選による単記無記名投票によってこれを行う。得票数の上位1名を会長に選任する。

2 副会長の選出は、前項に規定する会長選任に引き続き、再度理事の互選による単記無記名投票によってこれを行う。会長を除いた理事のなかから、得票数の上位2名を副会長に選任する。

3 会長もしくは副会長の確定において同点者の生じた場合は、同位の者だけで再度理事の互選による単記無記名投票を行う。

4 同一人はひきつづいて4期（8年）を超えて会長に選任することはできない。

選挙管理 高田豊司・山根隆宏（第1期後期・理事）

会長選挙

- ・樋口純一郎理事 6票……選出
- ・安東 大起理事 2票

副会長選挙

- ・安東 大起理事 5票……選出
- ・富永 良喜理事 2票……選出
- ・谷家 優子理事 1票

5. 第2期会長・副会長の挨拶

樋口新会長より

- ・開会の辞で土台づくりの4年だったと申したが、会長自身が理事会議事録作成、選挙運営、総会資料作成等、かなりの部分で事務作業を負担しているのが現状。これでは、団体として自立できているとは正直言い難い。
- ・会長の歴任は、当会選挙規程第10条の4「同一人はひきつづいて4期（8年）を超えて会長に選任することはできない。」とあり、わたしにとっては後任会長へのバトンタッチを考えなければならぬ。新理事の皆さんは、そのあたりを心得て業務執行していただきたい。

安東副会長より

- ・研修はさることながら、これから入会してもらう養成課程中の学生は受験予定者に魅力ある発信を考えていきたい。

富永副会長より

- ・わたし自身も臨床心理分野に長年かかわってきた。次世代へバトンパスすることを意識した期としたい。

閉会の辞（第1期後期副会長より）

高田副会長より

- ・わたし自身、理事としては退任することとなる。しかし、当会はまだまだ発展途上であり、理事でなくても自分も含めたここに集まる者すべてが力を合わせなければ、運営は難しい。委員や研修講師等さまざまな形で、サポートをお願いしたい。

署名

樋口 純一郎

